

## 平成30年市町村広報コンクール審査票(広報写真の部)

○写真の名称:水無月の風物詩

広報館林(7月1日号)

### 評価された点

- いつも子どもが被写体の写真が入選していたので、違う被写体に目が行った。女の子がきれい。
- この時期の館林の菖蒲は、県内でも強いコンテンツと言える。この広報紙を見て菖蒲を見に出掛けてみようと思うのではないか。
- 菖蒲に季節感ある。モデルの女の子がすごく良い。
- 機材もだがテクニック的にも玄人(プロ)っぽい写真である。
- 女の子の涼やかな感じが良い。
- 季節感があり、ぱっと目を引く写真である。
- 被写体が1人の他の写真はじっくり見ないと伝わらないところもあるが、それらと比べても菖蒲とモデルの雰囲気マッチしていて、相乗効果によりとても良くなっている。
- 写真のセンスが良い。
- 館林は日本離れしたような雰囲気がある。内陸でこれだけ標高が低い所はあまりない。濃密な水蒸気のある風土の感じが出ていて良い。

# 平成30年市町村広報コンクール審査票(広報写真の部)

○写真の名称:小泉稻荷神社見学

広報いせさき(8月1日号)

## 評価された点

- 伊勢崎と言えば「異文化共生」というテーマが浮かび、これをぶれずに訴えている。表紙からも強く伝わる。
- インパクトのある赤を使っている所も良い。
- 鳥居の中に外国人がいるシチュエーションがまさに「異文化共生」をこの1枚で表している。

# 平成30年市町村広報コンクール審査票(広報写真の部)

○写真の名称: ザ・現場職人

(広報おうら9月1日号)

## 評価された点

- 白黒で力強さ、訴える力がある。
- 写真を撮影した経緯などが面白かった。「掲載意図」の視点がとても良い。工事に従事する方は裏方であるが、汗をかいて働く人をよくぞ取り上げていただいた。
- 普段にない目線で、町の建物が出来る過程を紹介しているところが良い。
- 記事を読んでもみたいと思わせる良い写真である。